

## 理事長声明

### 日本総合病院精神医学会より

#### 新型コロナウイルス関連メンタルヘルスについて

昨今の新型コロナウイルス（COVID-19）による感染拡大に関連しては、感染者数や死亡者数が増加の一途をたどり、明らかに、次のフェーズに進んでいると確信しています。

事実上、「医療崩壊」の危機が叫ばれている地域もいくつか想定されています。さらにここに来て、新型コロナウイルス感染症に罹患した方を受け入れている病院では、医療者のストレスが増大し疲弊しているため、そのメンタルヘルスに関して積極的に関与していく必要性が高くなっています。同時に、コロナ患者の精神症状の対応、家族ケア、臨床倫理的問題への対応などにも迅速に対応していく必要性を感じております

新型コロナウイルス感染の問題は、主に総合病院や一般病院で起こっています。日本総合病院精神医学会の会員の多くは、いわゆる総合病院や一般病院に勤務していますので、院内の担当部署に出向き、医療者のストレスを緩和する態勢をとっております。また、クリニックや精神科病院に勤務している会員の場合にも、リエゾン精神医学というスキルによって、近隣の病院に出向き、医療者のストレスを緩和する用意もございます。

日本総合病院精神医学会内では、高橋晶災害対策委員長を中心にしてメーリングリストを立ち上げ、現在 1,000 名ほどの学会員・非学会員によって活発な情報や工夫の交換や、実践的な対応策について話し合われています。

このメーリングリストの内容は多岐にわたっているので、適宜、整理して、高橋晶災害対策委員長から順次このHP上に公開していく所存であります。

みなさまご自身もくれぐれもご自愛いただき、共にこの難局を乗り越えましょう。

2020年4月25日  
日本総合病院精神医学会理事長  
保坂 隆